平成 20 年10月　1日
第 17 号

やかたばら環境通信

◇◇　発行　◇◇
八方原の環境を守る会
代表　原田憲一郎
電話　972・7602

八方原老人クラブが共同作業
奉仕作業で地域クリーンアップ

老人会が毎年９月20日に行う全国一斉奉仕活動の一環として八方原老人会も市道の草刈り清掃を19日に行いました。

山陽鋼機建設（株）入り口から岡田地区の県道合流点までと、（株）高山造庭園から八方原橋までの延長１７００メートルの区間です。

参加した会員は28名です。会員は刈り払い機や鎌など、それぞれの道具で作業を進めました。９月の中旬とはいえ夏の暑さの残るの中、２時間の作業が続きました。刈り取った草やすくい集めた汚泥などもトラックで搬送、処理しました。



市道周辺の作業は一般車の通行に気をつけながら、慎重に



きれいになった市道の側溝、空き缶なども多数放置されていた

なんとかしたいイノシシ被害

農道を部分的に封鎖して「イノシシ」の侵入を防ごうとしましたが、完全に防ぐとはできず、あぜ道を中心に荒らされていました。

幸い、稲への直接被害は出ていないようですが、これからも油断はできません。

各地で畑の野菜などへの被害が報告されていますが、山口新聞の報道によると９月23日の午後９時半頃ＪＲ山口線宮野北部付近で列車が線路上にいたイノシシに衝突、１時間以上列車に遅れが出たことが報じられていました。びっくり！

安全第一草刈り作業

営農１班では、今年３回目の草刈り共同作業を９月21日実施しました。

農地の周辺の草刈りは終わりのない仕事、きれいに刈り取っても何日かすると草が目立ってきます。恵まれた環境と強い生命力が植物を成長させ、私たちの食物となる稲や野菜も大きく育つのですから、ある意味ではありがたいことです。しかし、決して楽なものではありません。斜面での刈り払い機の作業などは危険性も高く、他の地区の活動の中で草刈り作業中に、池に転落するという重大な事故も起きています。

これからも慎重に、そして根気よく雑草を処理するしかありません。



範囲が広いので分散して作業

パワフルマシンがやってきた



導入されたイセキコンバイン FrontierFigthter448

八方原営農生産組合ではコンバインを一台入れ替えました。

新たに導入された新型コンバインは機能を絞ったモデルで、あまり必要のない機能やオプションが付いていないものです。その分価格も抑えることできました。しかも契約時期の関係で従来の価格で交渉でき、その後の値上がりの影響を回避できました。

今シーズンはほぼ同じ能力も持ったコンバイン3台で、刈り取り収穫作業を行います。



◀エンジンの回転計を中心にコンパクトなメーター類。左のレバーはアクセルレバー



▶作業中は右手のレバー1本だけで操作を行う。大きな機械だが操作は比較的に楽そうだ

小郡地区ソフトボール大会準優勝



大会終了後の慰労会にはほぼ全員が参加

8月31日、小郡地区ソフトボール大会が行われました。未明からの雨でグラウンドはぬかるんだところもありましたが、参加者全員が整備に協力しました。

八方原ソフトボールチームは昨年に続く優勝を目指し、初戦から大いに気を吐きました。明治東には大勝、続く奥前畑には7対2で勝ち上がり、迎えた3回戦は隣の森下チーム。接戦の末同点でじゃんけん勝負。5人までに2対3とリードされていましたが、6人目で同点に追いつくと、後は一気に勝負を決しました。

決勝戦は金堀とでしたが、終盤までリードしながら最後に同点に追いつかれ、延長戦の末6対7で優勝を譲りました。

大会の1週間後、市の体育大会のソフトボール競技には金堀・八方原連合チームが出場。名田島、秋穂二島チームを撃破しましたが、Bブロック決勝戦で大歳チームに敗れました。

決勝では敗れましたが、スポーツを通じて新たなつながりが広がり、大変有意義な大会参加となりました。

ご協力お願いします

9月24日より稲の収穫作業が始まりました。午前10時頃より作業を開始いたします。午後からは収穫した籾の運搬作業のためトラックが農道に入ります。つきましては、一般車の農道への乗り入れをご遠慮いただきますようお願いいたします。

※9月23日までイノシシ侵入防止のための農道封鎖をしておりましたが、解除いたしました。ご協力に深く感謝いたします。

各地で展開新たな活動

農地・水・環境向上対策は県内の各地で活動が展開されています。

下関市豊浦町の岡井手・小路環境保全会では地元の小学生と協力してホタルの飼育から放流を行っています。これらは生態系保全活動として高く評価されています。

熊毛郡田布施町の大波野地区環境保全会では地元のPTA組織と連携し、「田んぼの生き物調査」を行いました。普段当たり前のように目にしているものでも、こうした調査によって関心を集めることにつながります。

今後の活動の参考にします。